

# CLUB NEWS

NO. 492

事務局

444-0856 岡崎市六名一丁目5-6 小野盛光

[ono511@m4.catvmics.ne.jp](mailto:ono511@m4.catvmics.ne.jp) Tel 0564-51-9992 Fax0564-77-4979

<http://home1.catvmics.ne.jp/~ono511/index.htm>

編集担当：小幡

## コロナ騒動の中、延期々で3週連続で開催・・・OL参加旅行記：小幡

### 関西マスターズプレ大会 11/14,15

☆11/13(金)前日集合の14:00新幹線新神戸駅へは時間がありましたので、岡崎から普通列車で三ノ宮駅下車して歩いて新幹線駅へ行く。定時刻に5人集まりレンタカーで会場の近くの民宿へ到着。

民宿受付がビニールで囲っており、体温測定各自の住所氏名を記入して部屋に入る。

☆11/14(土)兵庫県香美町ハチ北高原

プレ大会の会場はスキー場下の広場で体温、書面で体調チェックして会場に入る。

スタートは、マスターズ方式で4分前にスタート枠に入る1分前に机の上の各クラスの地図の横に立ってスタート。1日目成績はどうにか完走できた！

☆11/15(日)ハチ高原場所を変えて(30分離れる)体温体調のチェックして会場へ。

2日目の成績は、前日失敗したので、慎重に地図読みして、予想タイムに近いタイムでゴール出来ました。帰りは、新神戸駅から新幹線のぞみで名古屋へ名鉄で岡崎に帰る。

### 全日本ミドル大会 全日本大会 11/21,22

☆当日6:15名鉄前後駅集合して4名で高速道路の小淵沢ICで下車して富士見高原のスキー場の下、広場が会場でした。体温体調をチェックして会場に入る。

1日目全日本ミドル大会のスタート30分前くらいに前に、スキーのリフトでスキー場の上からのスタートでした。スタートして、道に出たが緩いのぼりが走れなかった。

①ポスト付近に藪があって通りにくくて足を取られ、靴紐が解けたりし、中間部分では石がゴロゴロ走りにくかった。

今日の宿は、諏訪IC近くのビジネスホテルで体温を測る、Goto対象で+クーポン券でお得な料金で泊まりました。朝食はバイキングで、各自使い捨てのビニール手袋をはめて、おかず、ごはん、味噌汁等を取り分けて食事しました。

☆2日目全日本大会です。会場スタートも一緒です。

スタート前のアップで少し走っても今日は、体調が良さそうです。①から道に戻り、道走りして②の下から尾根を上り②へ、⑤～⑥のロングレグも始めに走っている道に出て同じく北に向かって走る。

後半は下り気味の手ラインで昨日より走りやすく、大きなミスもなく全日本大会2位入賞できました。

帰りは、名鉄前後駅まで送ってもらい無事自宅に帰りました。

### したらオリフェス 2020 11/29(日)

当日朝パソコンで、体温、体調データ送りました。愛知県内の大会なので一人で行き、道の駅の駐車場から会場の面の木ピットまで、マイクロバス送迎がありました。バスに乗るとき手の消毒をして乗り、窓を少し開けて換気していました。

会場には地元の人達の売店があり、したら町の応援があったようです。

オリエンテーリングは、コンパクトな地図で可能度良いテラインを気持ち良く走れました。

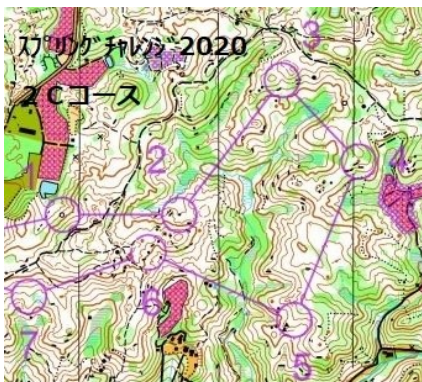
帰りに、稲武町のどんぐりの湯で入浴しました、ここでも受付で体温を測り住所氏名を書いて入る。

後記： 各大会の運営者の皆さんありがとうございました。

12月20日現在、異常無しコロナには罹ってはいないと思います？

## 「スプリングチャレンジ 2020」の挑戦記録 記：永井

- 1 Cコース：6月16日** この日が初挑戦、9時5分にスタートし①②は順調に通過、③コントロール50番は何処だと探している間に、通り過ぎ大きな亀裂に出て④を確認、③は未確認のまま⑤⑥と通過する。⑦⑧には深入りせずに、暑さの中ひたすら歩いてゴールへ所要時間は2時間45分でした。
- 6月18日** 再び同じコースに再挑戦するもやはり走れず、ラストコントロールまで歩いて周りましたが、最後のゴールまで下り1Km程を何とか駆け足で辿り着くことができました。この日は曇り空で、後半には細かな雨が降り出し、先日とはうって変わった天気で、所要時間は1時間40分35秒でした。
- 2 Cコース：6月23日** 朝6時30分にスタートする。
- ②コントロールをオーバーランして迷い込み、②への戻りに湿地にはまり込んで戦意喪失する。その後④までは何とか行けたが⑤61番に辿り着けずギブアップした。所要時間は2時間42分である。
- 6月24日** 7時前に車を駐車してスタートへの準備をしていたら、スティックを持ってトレッキング中の元クラブ員鍼灸師の内田さんが突然声をかけてきて、「チャレンジ2020の企画は“いいですね”」と褒めていただきました。この後スタートしたが、前日クリア出来た③に行けず、④から⑤61番へ向かうが辿り着けずにギブアップする。
- 7月1日** 今日こそはと意気込んで6:40スタートするが、士気は上がらず。再度⑤コントロール61番へは辿り着けず帰りに、たぶん⑤北の湿地にはまり込み、コンパスまでも落とすが落ちて拾い上げることが出来たが、地図に貼り付けたラップ記入の紙も濡れて読めず、西へ北へと現在位置も分らず湿地を渡り、小径、道へ出て進むと第3スタート地点へ出てしまいました。ここで所要時間は2時間10分でした。
- 3 Cコース：7月16日** 梅雨の晴れ間をぬって、第3スタート地点まで移動して6時48分にスタートする。
- ①コントロールは2 Cコースの④と同じですが、周りをうろつき探し出す。②へは慎重に尾根つたいでゲットする。③は幻の61番、今日は大きな沢へ下りて低い下から、61番の尾根へ登ることに成功した。その後④と⑧で大きくミスしたが、1回で完走できた。所要時間は2時間31分15秒である。
- 2 Cコース再：10月6日** 2日前に前田さんが全コントロールをチェックして、無くなった2ヶ所を再度付け直された直後で、この2 Cコースを4度目の挑戦をしました。7時20分にスタートして、①コントロール50番付近をウロチョロと探していると小径の脇にミニフラッグが落ちているのを発見しました。50番は付いていたので落ちていたフラッグをスタート地点S2位置に取り付けてきました。このハプニングで既に1時間ほど経過し、8時20分に再スタートして順調に③まで辿り着き、その後ホッとしたのか登りきった鞍部から西の方へ降りてしまい、道へ出て大きく迂回して④へ、そこから62番(別コース)は通過したが、またも⑤61番にたどり着けず、西の湿地を渡り尾根を越えて、9時45分にギブアップで帰りました。この日の所要時間は2時間25分である。



10月13日 序盤を省略してS3地点から入り、同じ2 Cコースの後半④コントロールから7時50分に再挑戦する。しかしまたも⑤61番へ辿り着けずにギブアップ(8時30分)で帰ってきました。

実はこの日、マダニに喰われていたとは知らず、翌日昼頃からひざ下付近がかゆくなってきて、16日朝には脛半分が真っ赤に腫れ上がり、とうとう医者へ行きマダニを取り出してもらい、抗生物質内服薬を5日分、塗り薬と採血までされました。1週間後医師から、「命拾いをしたね」と言われました。

反省：★★★まずは「スプリングチャレンジ 2020」の企画・実行・点検及び撤収と全てをお一人でやられた前田会長にお礼を申し上げます。★★★

このコース設定難易度は「Aクラスの完走能力ある人」との定義通りでAクラス検定ならず、来春にはM80になる小生ですが、いつまでもM65にいられず、今後はMBが妥当ということでしょう。

道根往還はいつも大会をお手伝いして、西の部分と中央部分は設置や徹集作業に入るのだが、東の部分(会場から遠い)は最近では殆ど若い人任せで入ってはならず、新世界であり、Aクラスの難しさを改めて知りました。

## クラブ員の活躍記録 Lapセンターより

12月13日(日) 岡山県民パークオリエンテーリング大会(吉備中央公園)

Sクラス ③尾和 薫 32:07 15人出走

12月13日(日) 東海・関西学連ミドルセレ (岐阜：関ヶ原)

東海 MS	③粟生 啓介	49:28	57 人出走
	④藤井 一樹	51:31	
	⑤石川 創也	53:00	
OMS1	⑨築地 孝和	49:16	36 人出走
	⑩林 雅人	50:16	
	⑫桑山 倫博	68:50	
OMS2	⑪神谷 孫斗	56:54	32 人出走
OWS	④藤井 菜美	43:50	15 人出走
	⑤角岡 昭	44:52	



12月13日(日) 愛知県民大会 [あいち健康の森公園]

MA クラス	④岩瀬 史郎	25:56	6 人出走
	山本 匡毅	1:50:40	
M35	①杉山 洋平	18:27	11 人出走
W35	①三井 由美	27:01	2 人出走
M75	⑤小幡 昭次	32:49	8 人出走

県民大会のスタート地点 (上の写真)

会場を小野盛光

計算センターを杉森憲文

コースセッターを牧宏優

ゴールを稲葉英雄、戸上直哉、椎名麻美

スタートを桑山朋巳、牧夫人、永井で担当

**参加しよう！ 頑張ろう！ そして協力しよう！**

令和3年の大会

- ★ 1月10日(日) 名古屋市民OL大会 大高緑地公園
- ★ 1月24日(日) 昇竜杯OL大会 岡崎市藤川町周辺
- ★ 5月3日(祝) 岡崎ロゲイニング大会 岡崎市西部地域交流センター「やはぎかん」

三河 OLC12月ニュースは、永井氏に協力戴いて発行出来ました。

次回は一旦 事務局へお返しします。